

「桜」から学ぶこと

あけましておめでとうございます。新しい年とともに、子どもたちはすがすがしい気持ちで新学期を迎え、「今年もしっかりやるぞ」という気持ちでスタートを切りました。以下、3学期の始業式でお話したことの一部を掲載します。

新しい年となり、新しい学期が始まりました。

昨年、桜小の皆さんは、様々な場面でしっかり頑張りました。さて、今年はどんな年になり、桜小の子どもたちはどんな活躍をしてくれるのかを楽しみにしています。

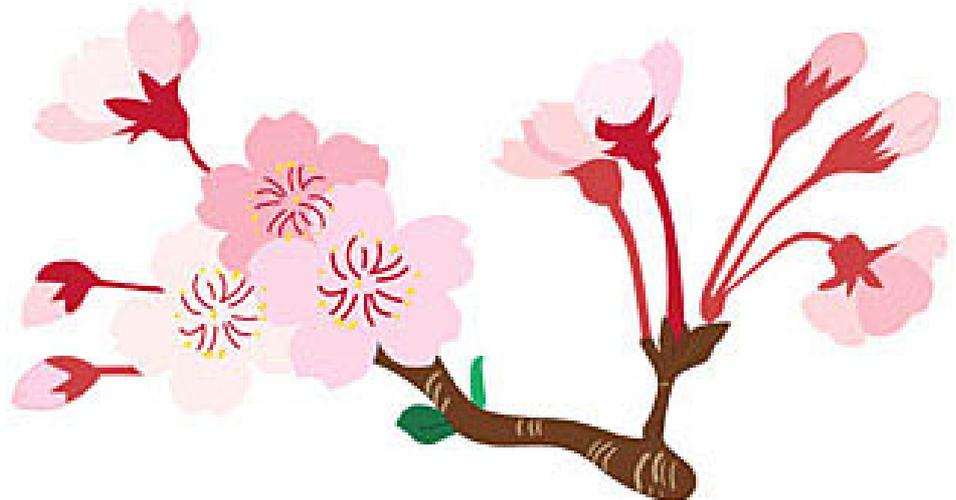
NHKの大河ドラマで綾瀬はるか主演の「八重の桜」という日本国中が注目しているドラマが始まりました。今年も、「桜」が注目される年かもしれません。

桜小学校にも、近くの五百淵公園にも、春になるときれいな桜の花がたくさん咲きます。その桜の花を咲かせるための準備はいつ頃から始まっているか知っていますか？実は、準備はずうっと前、前の年の夏頃から始まっているのです。（早いものは夏至 6/22 頃から始まり7・8月にはほぼすべてが出来上がります。）この頃に、花芽というつぼみの元になるものが出来上がります。驚くことに、桜は、あのきれいな花を咲かせるのに1年近くもの月日をかけているのです。皆さんも、自分でやることを決めたなら、あきらめずに頑張ってくださいと思います。

桜のことについてもう一つお話します。桜、夏に花芽が出来たら、その芽は大きく膨らむことはなく、春に咲き誇るためのエネルギーを蓄えようと、眠ってしまうのだそうです。これを「休眠」といいます。でも、どんなにエネルギーがたまっても、目覚めなければ花を咲かせることはありません。では、いったいどうやって桜は目を覚ますのか。それは、冬の寒さです。冷たい北風、凍りつくような雨や雪、そういう厳しい寒さによって目を覚ますのです。これを「休眠打破」と言います。人間も同じです。いつも楽をしている人は大きな成長がありません。時には厳しい環境、困難な状況にあっても、逃げずに立ち向かうことによって、一人ひとりがもっているすばらしい力を発揮することができるのです。

昨年は、立石諒さんから「夢」を持つことの大切さを教えてもらいました。皆さんは、夢の実現のために何かを頑張ろうと思っています。今、大事なことは、そのための一歩を踏み出し、たいへんなことがあっても、辛いことがあっても、あきらめずにがんばり続けることだと思います。

そして、がんばり続けるために、皆さんのまわりには、友達がいます。仲間がいます。3学期は51日しかありません。1月は「いく月」、2月は「にげる月」、3月は「さる月」と言われ、あっという間に過ぎていきます。今年も、クラスの友達と、桜小の仲間とともに、自分の夢を実現する一歩を踏み出す学期にしていましょ。



始業式には触れませんでした、「桜」について、もう一題。

桜が、とってもきれいに見えるのは、(同じ地域に複数の桜があったとしたら、) 全部の木の桜が一斉に花を咲かせるからです。こんなに見事に一斉に花を咲かせる植物は、他の植物には見あたりません。どうしてだと思いますか？

それは次のような理由があるからなのです。

全国にある桜の7割から8割が「ソメイヨシノ」という品種です。特に各地の公園や並木通りの サクラは、100パーセント近くがソメイヨシノであるといわれています。なんと、この「ソメイヨシノ」は、わずか1本の原木(親木)から接ぎ木により繁殖し、何代も何代も代を重ねて現在に至っているのだそうです。別な言い方をすれば、1本の木からのクローンということになります。すなわち、「ソメイヨシノ」は、すべて同じ遺伝子、同じ性質を持った桜であるということです。これが、すべてのソメイヨシノが一斉に咲き一斉に花を散らす理由になっています。

昨年3月に森林総合研究所(茨城県つくば市)などの研究チームがDNA解析に基づく分類を公表しました。そこでは「1850本の桜のDNAを分析した結果、ソメイヨシノはすべて同一DNAのクローンだったことが判明した。」というニュースでした。今まで言われてきたことが科学的にも検証されたものでした。

でも、このようにして出来てきた桜は、特定の病気に掛かりやすく環境変化に弱いなどの弱点もあります。さらに、寿命も一緒だし、もうすぐ寿命なんじゃないかという人もいます。

桜についてもっと理解をして、近くにある桜には出来るだけ長生きしてもらうように、大事にしていきたいものです。

給食の放射性物質測定結果

	食材の 事前測定	1食分まる ごと測定
11月20日	不検出	不検出
11月21日	不検出	不検出
11月22日	不検出	
11月26日	不検出	不検出
11月27日	不検出	不検出
11月28日	不検出	不検出
11月29日	不検出	不検出
11月30日	不検出	不検出
12月3日	不検出	不検出
12月4日	不検出	不検出
12月5日	不検出	不検出
12月6日	不検出	不検出
12月7日	不検出	不検出
12月10日	不検出	不検出
12月11日	不検出	不検出
12月12日	不検出	不検出
12月13日	不検出	不検出
12月14日	不検出	不検出
12月17日	不検出	不検出
12月18日	不検出	不検出
12月19日	不検出	不検出
12月20日	不検出	不検出
1月7日	不検出	
1月8日	不検出	

【給食の放射性物質の測定について】
 ○食材の事前測定(2~4日後に使う予定の食材を測定しています。)
 ○1食分まるごと測定(当日、子どもたちが食べる、ご飯やパンなどの主食、牛乳、副食を、そのまま測定しています。)
 ○測定は、ガンマ線スペクトロメーターLB2045を使用しました。
 ○11月22日、1月7日、1月8日は、給食のない日でしたので、「1食分まるごと測定」は、しませんでした。
 ○お米は出荷された段階で全量全袋検査、その後JA郡山市において測定器の検出限界値10ベクレル未満で、玄米・精米の段階で、さらに、その日に提供される「給食まるごと1食」の中でもご飯を測定する三重の検査体制となっております。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
 郡山市の学校給食で使用する食材は、国の定める食品中の放射性物質に係わる一般食品の新基準値である100ベクレルよりもさらに厳しい、測定器の検出限界値10ベクレル未満としています
 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆